施主様用

UA163

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

快適に使用していただくために

取扱説明書 自然浴生活

鋳物アームU錠

この取扱説明書の内容は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。

安全に関する記号	記号の意味
警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
注意	取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
お願い	取扱いを誤った場合に、製品の損傷または故障のおそれがある内容を示しています。
補足	説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

もくじ

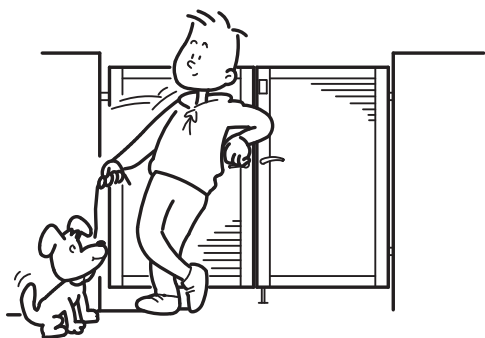
●製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになったあとは、たいせつに保存してください。

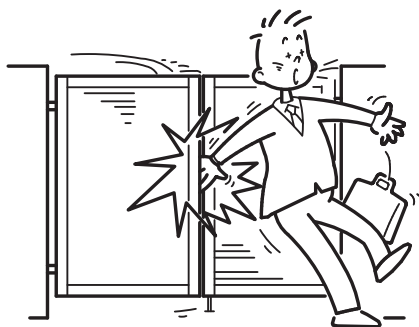
UA163_201108B

1　安全のために必ず守ってください

⚠注意

●開閉操作をする前に周囲に人がいないこと、および物がないことを必ず確認してください。扉にはさまれたりぶつかったりして、ケガをするおそれがあります。特に、お子様の飛び出しなどに注意してください。

⚠注意

●門扉に乗ったり、ぶらさがったり、寄りかかったりしないでください。門扉がはずれてケガをするおそれがあります。

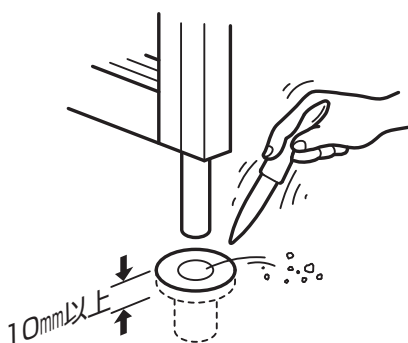
⚠注意

●門扉を開閉するときは、門柱と扉の間や、扉と扉の間に手や足をはさまないように注意してください。特に風の強いときは、急に開閉しますので注意してください。

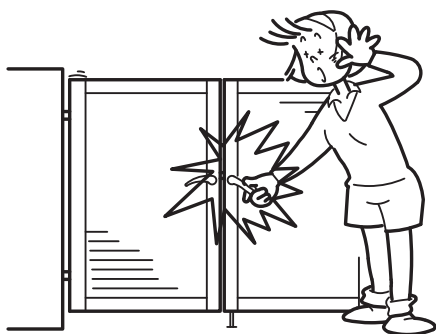
⚠注意

●強風時には必ず施錠し、落し棒をおろしてください。強風で扉が開き、人に当たるおそれがあります。

⚠注意

●錠受け側の門扉は、必ず落し棒を下げて固定してください。強風で扉が動き、人に当たるおそれがあります。

⚠注意

●落し棒付の門扉では、落し棒受けにたまった土・砂やごみなどを取除いてください。落し棒のかかりが浅いと強風で落し棒が外れて扉が動き、人に当たるおそれがあります。
落し棒受けの深さは10mm以上必要です。

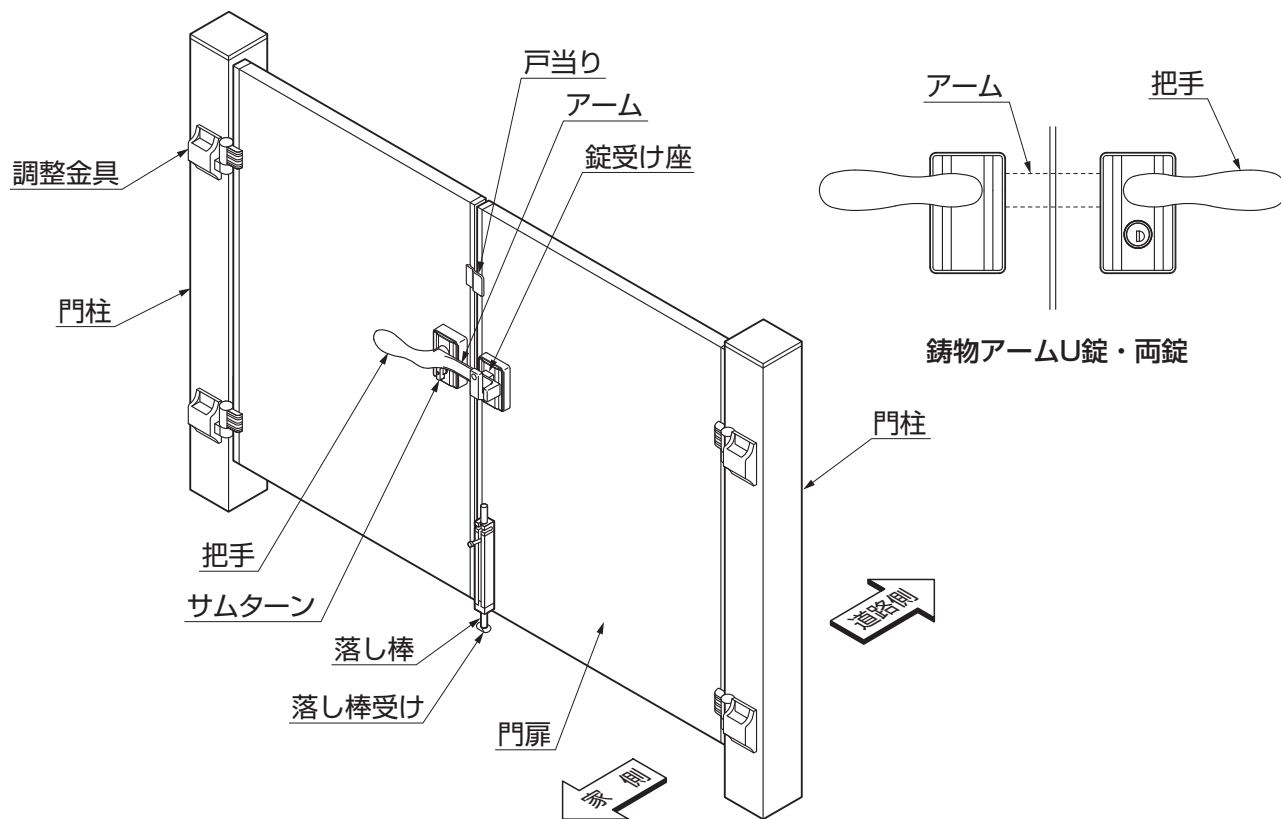
⚠注意

●把手やアームを持って門扉を開閉するときには、扉に手を当てないように注意してください。

⚠注意

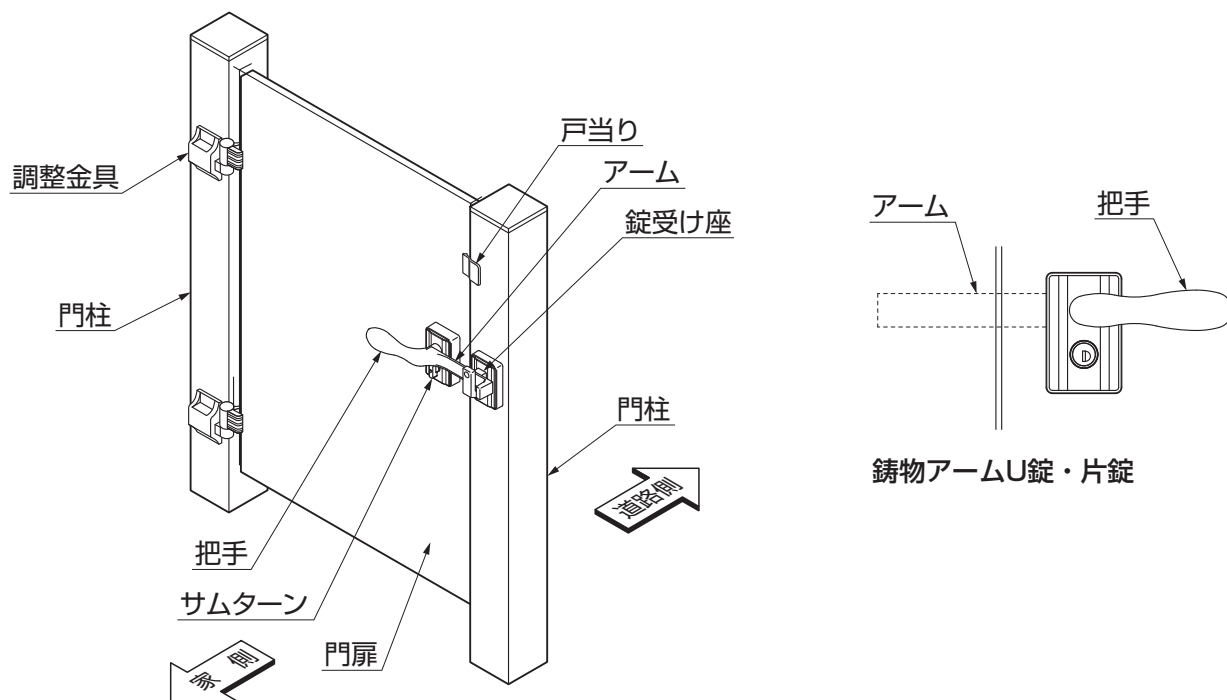
●デザイン上、すきまが小さく指を入れてしまいやすい箇所や、すきまが大きく頭や足を入れてしまいやすい箇所があります。
特にお子様は、指や頭、足を差込んだり、ぶら下がったりしないでください。落下や、はさまれて事故になるおそれがあります。

2　各部の名称

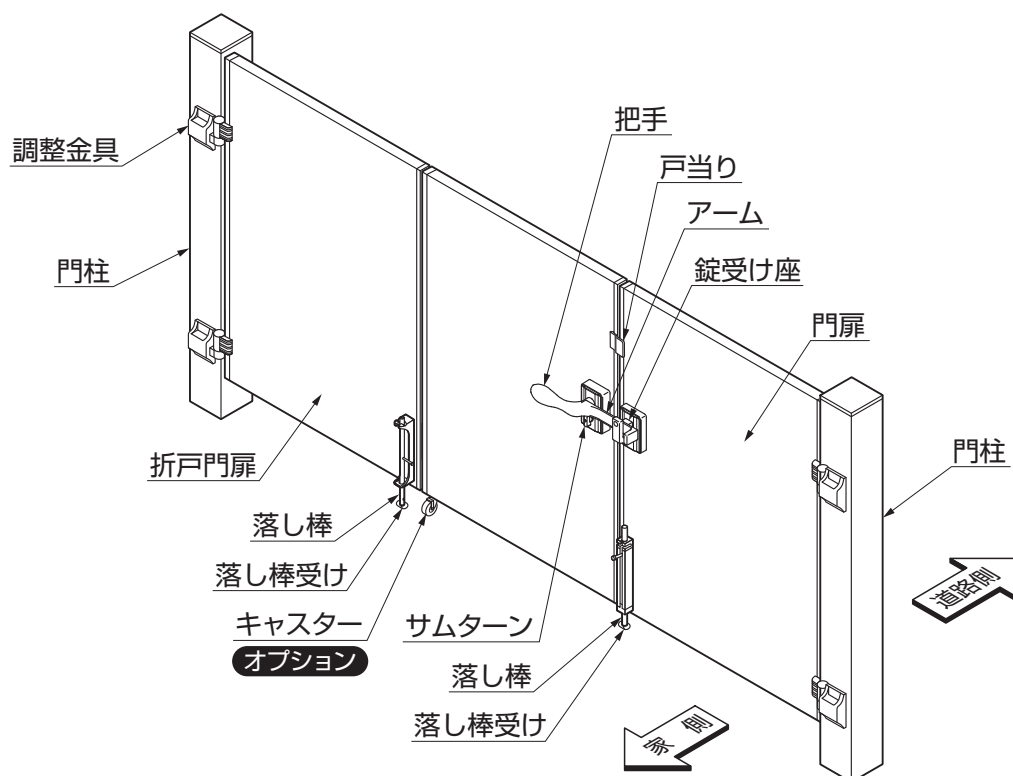
（1）両開き

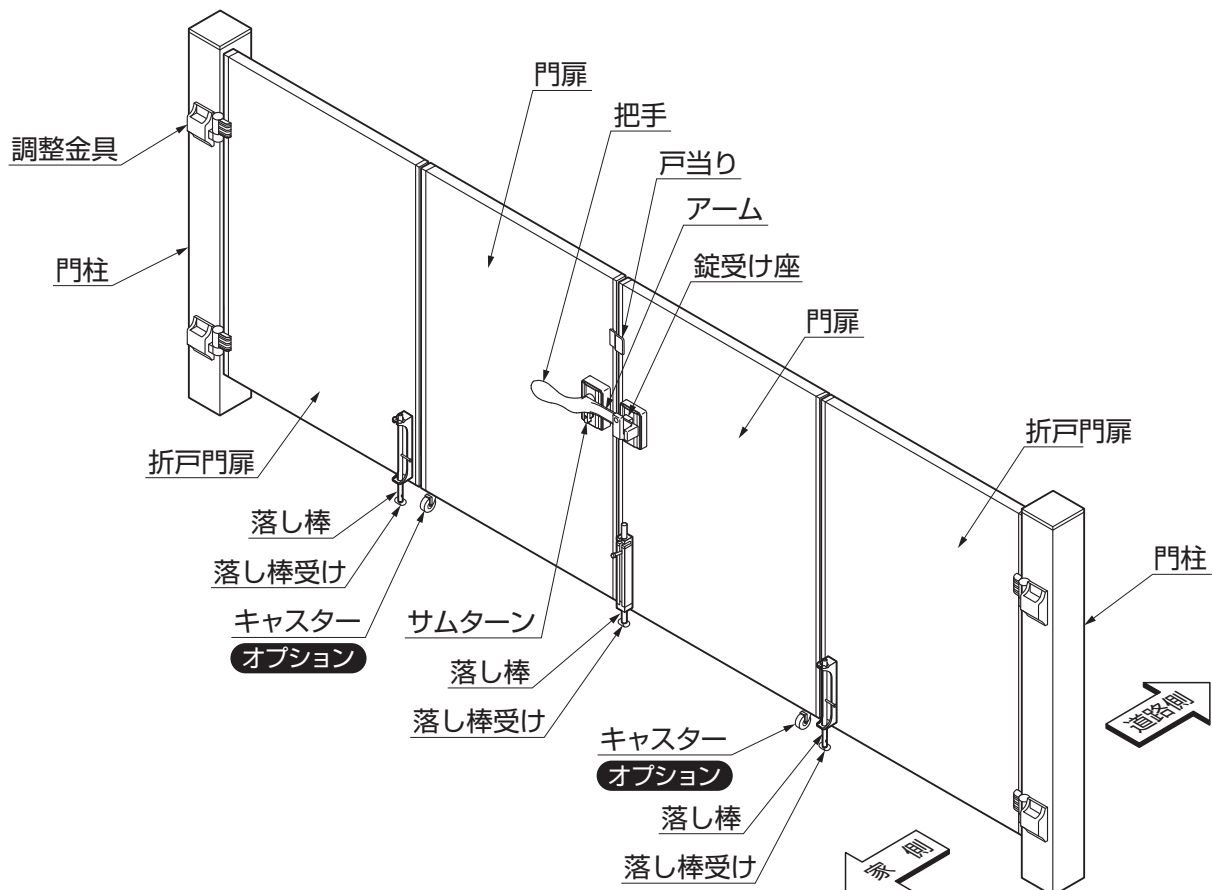
※図は家側から見た両開き門扉(内開き)を示します。
※空錠の場合は、サムターンは付いていません。

鋳物アームU錠・両錠

（2）片開き

※図は家側から見た片開き門扉（内開き）を示します。
※空錠の場合は、サムターンは付いていません。

鋳物アームU錠・片錠

（3）3枚折戸

※図は家側から見た、門扉 3 枚折戸仕様(内一内開き)を示します。
※空錠の場合は、サムターンは付いていません。

（4）4枚折戸

※図は家側から見た、門扉 4 枚折戸仕様(内一内開き)を示します。
※空錠の場合は、サムターンは付いていません。

（5）錠

※左右の勝手が違う納まりもあります。
※空錠の場合、シリンダーおよびサムターンはありません。

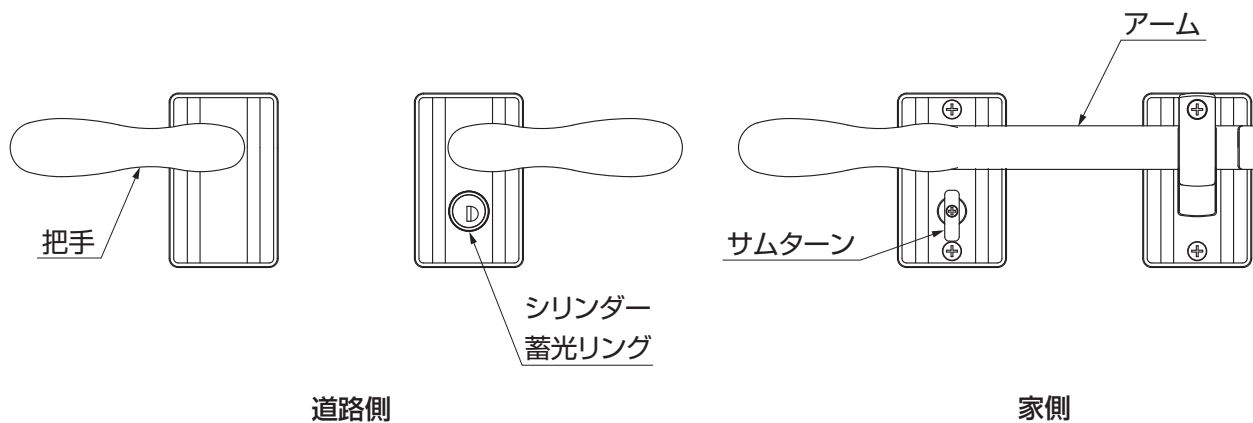
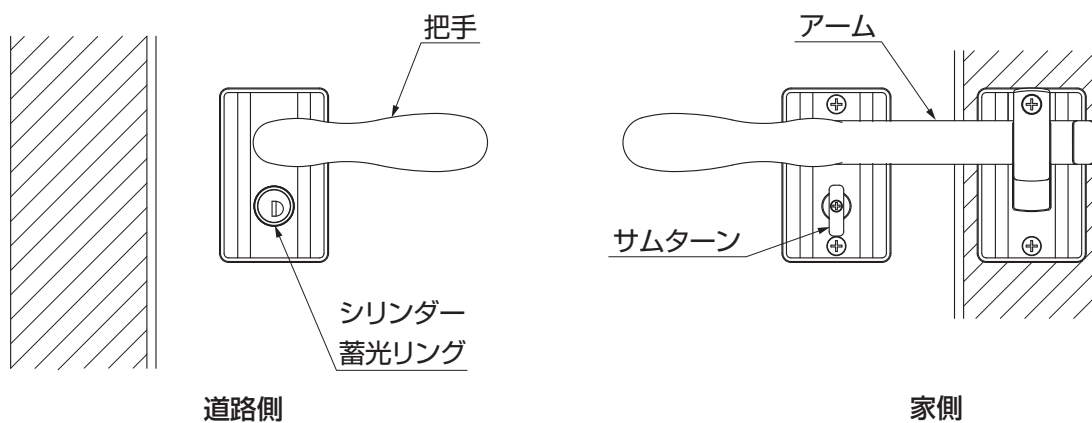
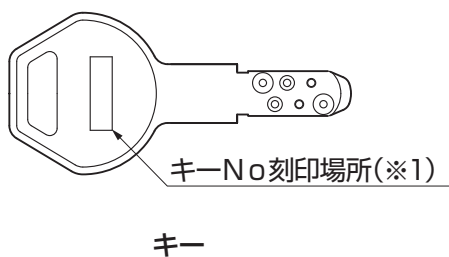



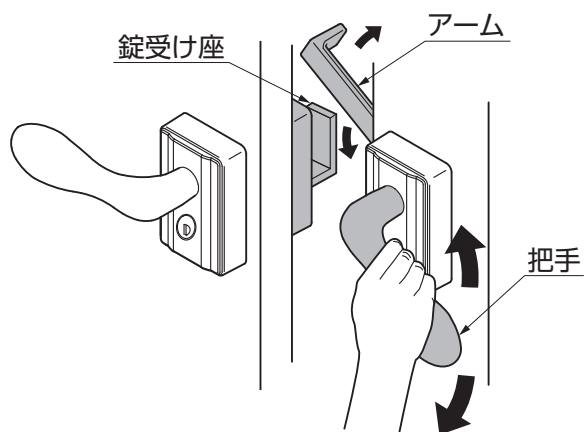
図2-1　鋳物アームU錠・両錠

図2-2　鋳物アームU錠・片錠

キー

補足

●キー Noを「6 修理」の欄に控えてください。 キー No(例：AB9999C9999)は、キーの作製時に必要です。(※1)

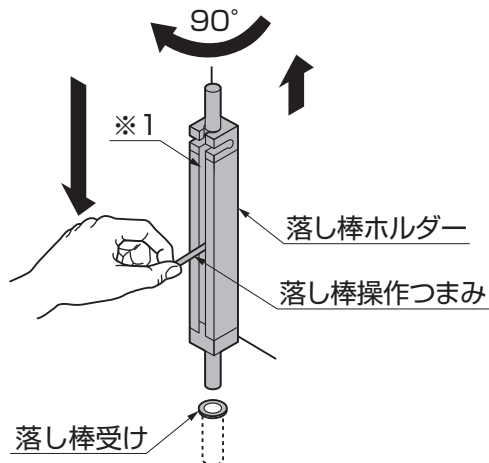
3　使用方法

3 - 1　錠の操作方法

①把手をにぎって回すと、アームが外れ、押すと門扉が開きます。
②門扉を閉めるには、門扉を閉じてアームが錠受け座に納まるようにします。

注 意

●サムターンまたはキーで施錠しているとき(「3-3 施錠・解錠方法」参照)は、アームが固定されて門扉の開閉はできません。
●図はシリンダーが右側にある場合を示します。

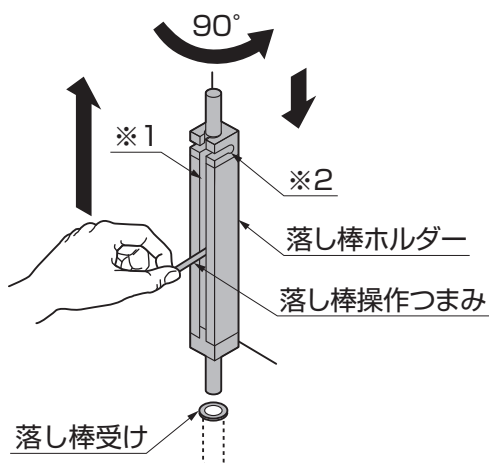
3 - 2　落し棒の操作方法

(1) 落し棒の落とし方

①門扉を固定するには、落し棒受けのあるところで落し棒操作つまみを持って、落し棒を少し持ち上げます。

②落し棒操作つまみを、落し棒ホルダーのミゾ(※1)を通しながら下げ、落し棒受けに入れます。

補 足

●片開き仕様には落し棒はありません。

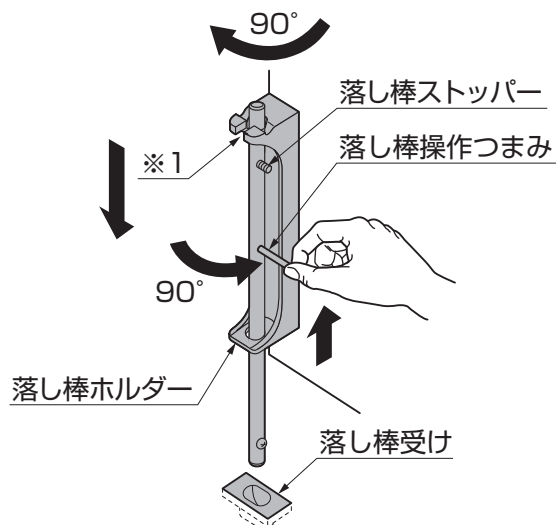
(2) 落し棒の上げ方

①落し棒を上げて門扉を開くには、落し棒操作つまみを、落し棒ホルダーのミゾ(※1)を通して持ち上げます。

②落し棒操作つまみを 90° 回転して、落し棒ホルダーの受け部(※2)に落し棒操作つまみをのせます。

補 足

●片開き仕様には落し棒はありません。

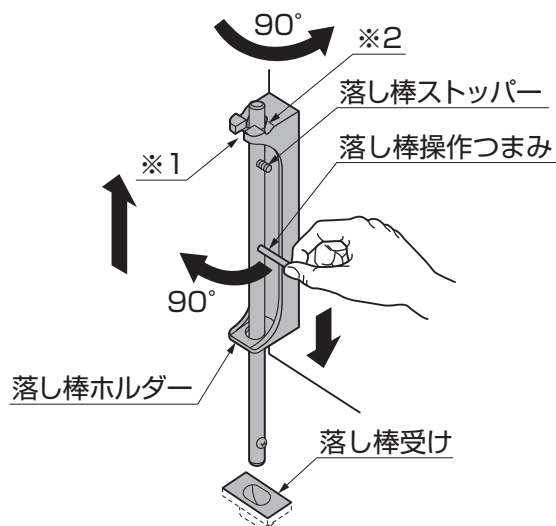
（3）落し棒の落とし方

※3枚折戸・4枚折戸のみ。

①門扉を固定するには、落し棒受けのあるところで落し棒操作つまみを持って、落し棒を少し持ち上げます。

②落し棒操作つまみと落し棒ストッパーを、落し棒ホルダーのミゾ（※1）を通しながら下げます。

③落し棒を落し棒受けに入れ、落し棒操作つまみを 90° 回転します。

（4）落し棒の上げ方

※3枚折戸・4枚折戸のみ。

①落し棒を上げて門扉を開くには、落し棒操作つまみと落し棒ストッパーを、落し棒ホルダーのミゾ（※1）に通して持ち上げます。

②落し棒操作つまみを 90° 回転して、落し棒ホルダーの受け部（※2）に落し棒操作つまみを乗せます。

3 - 3　施錠・解錠方法

※サムターンは、押しながら回して施錠・解錠してください。
※空錠の場合は、シリンダーおよびサムターンはありません。

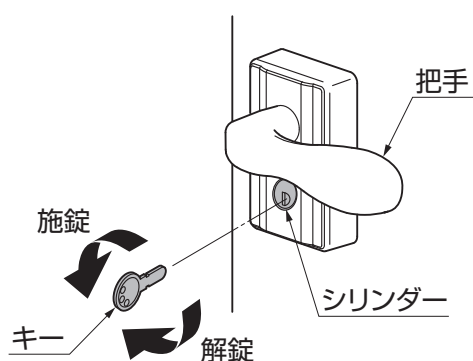



図 3-1　道路側（シリンダー）

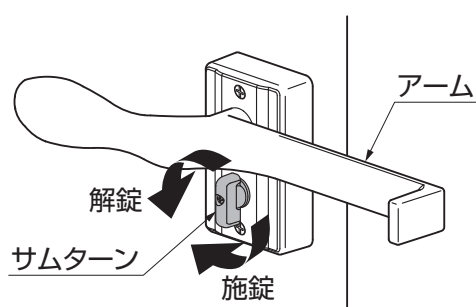
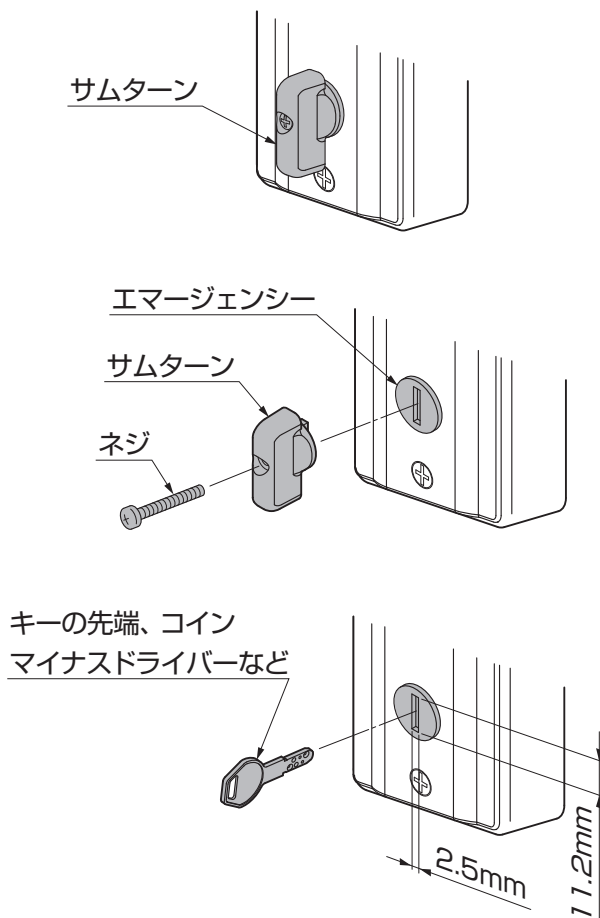



図 3-2　家側（サムターン）

3-4 家側の施錠・解錠方法の変更

①出荷段階では、家側にはサムターンが付いていますので、手で施錠・解錠の操作を行なえます。

②中央のネジをゆるめ、サムターンを取外します。これで「エマージェンシー機構」に変更することができます。

注 意

●「エマージェンシー機構」は、いたずらをある程度抑止できますが、部外者の解錠操作を完全に防止するものではありません。

補 足

●「エマージェンシー機構」に変更すると、素手での施錠・解錠ができなくなります。
●「エマージェンシー機構」で施錠・解錠をするには、2.5mm×11.2mm 幅の溝に入るキーの先端やコイン , マイナスドライバーなどを差込んで回してください。

3-5 ご注意とお願い

注 意

●部品に異常や不具合が生じた場合は、勝手な分解や調整をせずに、お買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。 異常作動したり破損して危険です。

お 願 い

●シリンダー・蓄光リングなどの錠に関する部品の交換は、お買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。
●キーはメーカー純正のものをご使用ください。 なお、キーの作製を行うためには、キー No が必要です。キー No は、英数字でキーに刻印していますので、「6 修理」の欄に控えてください。
●鍵穴に油や異物を入れないでください。 錠の操作ができなくなります。
●キーの抜き差しや回転の操作がスムーズに行なえない場合は、鉛筆の黒芯の粉(黒鉛粉)または錠前専用潤滑剤を鍵穴に注入してください。 そのまま放っておくと、キーが抜けなくなるおそれがあります。油や CRC などの合成潤滑剤はホコリを吸着し、かえって動きを悪くしますので使用しないでください。
●錠が凍結して動かなくなった場合は無理に動かさず、市販のスプレー式霜取り剤を使用してください。
●門扉の付近で農薬や殺虫剤などの薬剤を使用する場合は、表面に付着しないようにしてください。 表面が変色するおそれがあります。

4　お手入れについて

（1）門扉に付いた汚れの取り方

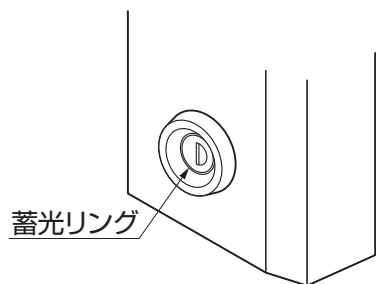
①年に 2〜3 回は水洗いをして拭きとってください。
　a. 汚れが軽い場合は水で濡らした柔らかい布で拭き取ってください。
　b. 汚れがひどい場合は、中性洗剤を薄めた液で汚れを落としたあとで、洗剤が残らないようによく水洗いをして拭きとってください。

お願い

●シンナー、ベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。 材料が変形・変色したり、塗料がはげることがあります。
●ブラシは使用しないでください。 キズがつくおそれがあります。

（2）キズの補修

①あやまって門扉にキズをつけた場合、弊社純正補修塗料で補修してください。 放置すると腐食の原因になります。

5　蓄光リングについて

注意

●蓄光リングは消耗品です。 経年変化により蓄効能力が衰えますので、数年に一度交換する必要があります。 蓄光リング交換は、お買いあげの販売店(工事店)にご依頼ください。

6　修 理

●製品に異常が生じたときは使用を中止し、お買い上げの販売店(工事店)にご連絡ください。
●スペアキーの購入は、防犯上お買いあげの販売店(工事店)にご依頼ください。
●修理に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店(工事店)または、「お客様相談センター」にお問い合わせください。
●修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

故障の状況	できるだけ詳しく	ご 氏 名	
製 品 名		ご 住 所	
施 工 日	年　月　日	電話番号	
施工店名		キー No	

TOEX

鋳物アームU錠　保証書

製造No. （商品名シールNo.）		
保　証 期　間	対象部品	期間（お引渡し日より）
	本　体	2ヶ年
	但し木材部品	1ヶ年
お引渡し日	年　月　日	
お客様	ご住所	
	お名前　様	
	電　話　（　）	

本書はお引渡し日から左記期間中故障が発生した場合には、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記記載内容をご参照ください。

※お引渡し日、お客様名、施工店名及び製造No.が不明の場合は、保証しかねますので施工店に必要事項の記入をご依頼ください。又本書は再発行致しませんので大切に保管してください。

施工店	住所・店名　印 電話　（　）

株式会社 LIXIL

〒136-8535　東京都江東区大島2-1-1

1. **保証者**
   株式会社LIXIL
2. **保証の対象者**
   当該商品の所有者
3. **対象商品**
   TOEXブランドで販売しているエクステリア商品
4. **保証内容**
   取扱説明書・表示ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に発生した不具合については、下記に例示する免責事項を除き、無料修理いたします。
5. **保証期間**
   当該商品の施工完了日（お引き渡し日）から起算して2年間。（電装部品及び木製部品については1年間）ただし、施工を伴わない商品についてはご購入された日から起算して1年間。
6. **免責事項**
   保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。
   ①取付説明書や表示ラベル、カタログなどに記載された施工・取り付け方法から逸脱したことに起因する不具合（例えば、腐食促進のおそれがある海砂・急結材等を使用したモルタルによる腐食、基礎寸法や取り付け寸法違いなどによる性能低下など）。
   ②取扱説明書や表示ラベル、カタログなどに記載された使用方法からの逸脱及び適切な維持管理を行わなかったことなどに起因する不具合（例えば、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食、雪下ろしや操作上の注意などの注意シール内容の不励行による破損など）。
   ③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする地域や場所に取付けられた場合の不具合（例えば、積雪強度、耐風圧強度、寒冷地での作動性や凍結に起因する不具合など）。
   ④建築躯体や、外構工事、土間工事、電気工事などの商品以外に起因する不具合。
   ⑤商品又は部品の経年変化（使用に伴う消耗・摩耗など。木製品の反り、ひび割れ、節抜け、ささくれ、変色、ネジ、ボルトの緩みや釘の浮きなど）や経年劣化（樹脂部分の変質・変色など）またはこれらに伴う不具合、および電池・電球などの消耗品の損傷や故障。
   ⑥自然現象や住環境に起因する結露、樹液の染み出しなどに起因する不具合（例えば、結露による凍結、かび、さび発生、樹液によるコンクリート壁面などの汚れなど）。
   ⑦環境が特に悪い地域又は場所に取付けられたことに起因する腐食及び不具合（例えば、海岸地帯での塩害や大気中の砂塵・煤煙・金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車の排気ガスなどの付着によって起きる腐食や塗装剥離、異常な高温・低温・多湿による不具合など）。
   ⑧天災その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など）により商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。
   ⑨実用化されている技術では予測不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合。
   ⑩犬、猫、鳥、ねずみ、虫などの小動物の害、又はつるや根などの植物の害による不具合。
   ⑪使用者や第三者による不当な修理や改造（必要部品の取外し含む）に起因する不具合。
   ⑫本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。
   ⑬犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合。

※保証期間経過後の修理・交換などは有料といたします。
※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お客様相談室にお問い合せください。

お客様相談センター

・商品のご購入・使い方などのご相談
・有償での修理と部品のご購入

0120-126-001　Fax03-3638-8447

受付時間‥‥月～金 9:00～18:00（祝祭日、年末年始、夏期休暇等は除く）

商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行う場合がありますのでご了承ください。

※当社は、当社商品のユーザー様及び流通業者様等の皆様の個人情報を商品納入や商品保証書を通じて取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンスその他の目的のために利用致します。当社の個人情報の取り扱いについて詳しくは当社ホームページの『プライバシーポリシー』（http://www.lixil.co.jp/privacy/）をご覧下さい。

取説コード
UA163

JZZ614164A
200702A_1007
201108B_1007